

÷ 第5回学習会「地域の資源とそのケース紹介」 ÷



グループホームかたらい 杉谷 操

平成22年1月16日 グリーンプラザにて開催された「地域密着型と地域交流実践事例紹介」に参加、地域交流実践事例の一つとして報告させていただきました。

発表も勉強の為と引き受けましたが、発表直前にはかっぱ手(汗ばんだ手)になっていました。地域との交流というか地域で当たり前のように生活することの大切さを痛感する事例や今一度考えさせられる内容の事例がありました。

その中で「かたらい」からの事例は4年目にして運営推進会議の協力の下で地域交流の第一歩を踏み出した事例を報告しましたが、自分達だけでは達成できなかったと思います。

研修テーマでもある「地域」は、ごく身近な所に当たり前のように存在していますが、その人らしい生活を送る上で必要不可欠であることを再確認できました。

今回の研修で得た課題は地域交流を「やった」という自己満足で終わらせるのではなく、しっかりとアセスメントを行い、その人と向き合い「活かした地域交流」を図っていくことです。

これからも、地域交流とは？を模索しながら気軽に行き来ができるホーム作りの為、今回の研修で学んだ事を実践に役立てていきたいと思っています。また、利用者様と共に生きていくことを目標



NEW 事業所紹介

グループホームえぞりす・花しょうぶ



グループホーム管理者 西野 華子

こんにちは。グループホーム えぞりす・花しょうぶ管理者の西野 華子です。

この度、平成22年1月16日に芽室町の町の中に『高齢者介護複合施設』が設立しました。

その中で、1階『かがやきサロン ひまわり』2階『グループホーム 花しょうぶ』3階『グループホーム えぞりす』となっています。

1階は芽室町の予防事業を運営しており、『いきいきリハビリ教室』(マット体操、お口の体操)『イキイキ運動塾』(筋力トレーニング)『かがやきサロン ひまわり』(趣味活動、外出など)を曜日ごとに実施しています。2・3階は認知症対応型共同生活介護としてグループホームとなっており、2ユニットの計18名の入居者が生活されています。居室は8帖が18部屋。今までの生活様式が続けられるよう、使い慣れた家具を持ち込んで安心して生活が送れることができます。また、職員と一緒に買い物に出かけたり、料理を作ったりとより楽しく、和やかに暮らせるようお手伝いさせていただいております。

各階の特徴として、1階『かがやきサロン ひまわり』は3つの事業がそれぞれで行っているため、フロアの真ん中を仕切っております。また、利用されている方が利用申し込みされていない事業も見学できるように、利用者同士顔を合わせることができるよう、仕切りは可動式になっております。

2階『グループホーム 花しょうぶ』はピンクと黄色を基調とし、花しょうぶをイメージしており、3階『グループホーム えぞりす』は木とえぞりすをイメージして、緑とオレンジ色を使っています。

このたび、初めて芽室町の中心部に介護施設ができました。今まで、町の中をなんとなく遠ざけていた介護施設は、地域の皆様に『介護施設はよくわからない』と思われていたことが多く、理解されないことが沢山あったと思います。今回、町の中心部に介護施設ができたことをきっかけに、地域の皆様と関係性を築き、地域を深め、本当の『地域密着型サービス』を目指していきたいと思っています。



キレイで暮らしやすい環境が整ってます！

